令和８年度作成

【資料1】

認知症　得ダネ♪情報

～認知症ケアパス～

「認知症かな？」と
思ったとき

認知症の人と、どのよ
うに接すれば良いか
迷ったときに



共に支えあい　生き生きと
笑顔で暮らせる**志布志市**を目指して

は　じ　め　に

認知症とは、様々な原因で脳の細胞が死んだり、働きが悪くなったりすることによって、記憶や判断力に障害が起こり、社会生活や対人関係に支障が出ている状態（おおよそ6か月以上継続）を指します。

特別な病気ではありません！

高齢者の３．６人に１人は認知症又はその予備軍と言われ、今後も増えていくことが予測されています。決して他人事ではなく、誰もが発症する可能性のある身近な脳の病気です。

「もし、認知症になったら･･･」「認知症かも･･･」と不安に思っていませんか？

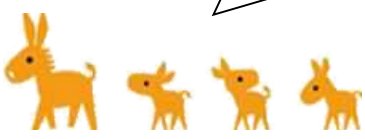
認知症は、早く気付いて、正しい知識を持ち、状態に応じて適切に切れ目なく対応をすることで、その進行を緩やかにすることができると言われています。

症状の進行とともに、生活の支援や介護が必要となります。家族を始めとして、地域の方々の協力を得ることができれば、住み慣れた地域の中で、その人らしい生活を続けることができる可能性が広がります。

★地域全体で認知症を理解し、一体となって支援を行っていくことが重要です★

「認知症　得ダネ♪情報」は、認知症の方やその家族、近所の方が認知症の疑いや診断を受けたときから、その方の進行状態に応じて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるのか、具体的なイメージを持ち、相談することができるようにするために作成しました。

穏やかに安心して暮らしていくために
お役に立てれば幸いです。





志布志市

【資料2】

認知症簡易チェックサイト

リンク先 ⇒ http://fishbowlindex.net/shibushi/
携帯電話・スマートフォンでQRコード対応の機種を
お持ちの方は、QRコードをご利用ください。

これって認知症？

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる行動などを基に簡単にチェックできるものです。
医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。



当てはまるものにチェックしてください。

「もの忘れがひどい」

- □電話を今切ったばかりなのに、相手の名前を忘れる。
- □同じことを何度も言う・問う・する。
- □しまい忘れ・置き忘れが増え、いつも探し物をしている。
- □財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う。

「判断・理解力が衰える」

- □料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった。
- □新しいことが覚えられない。
- □話のつじつまが合わない。
- □テレビ番組の内容が理解できなくなった。

「時間・場所がわからない」

- □約束の日時や場所を間違えるようになった。
- □慣れた道でも迷うことがある。



「人柄が変わる」

- □些細なことで怒りっぽくなった。
- □周りへの気づかいがなくなり頑固になった。
- □自分の失敗を人のせいにする。
- □「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた。

「不安感が強い」

- □ひとりになると怖がったり寂しがったりする。
- □外出時、持ち物を何度も確かめる。
- □「頭が変になった」と本人が訴える。



「意欲がなくなる」

- □下着を替えず、身だしなみを構わなくなった。
- □趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった。
- □ふさぎ込んで何をするのも億劫がり嫌がる。





レベル1	0～1つ	･･･ そんなに心配することはないと思われます。
レベル2	2～3つ	･･･ ご心配でしたら、お気軽にご相談ください。
レベル3	4つ以上	･･･ 専門家がお待ちしております。ご相談ください。





※結果にかかわらずご心配の方は専門機関に
ご相談されることをお勧めします。

出典：公益社団法人認知症の人と家族の会



認知症の進行に合わせて受けられるサービスの支援体制図

【資料3】

認知症の進行に合わせた介護保険サービス、その他の支援を上手に利用しましょう。

認知症の進行 （→方向に、進行している状態）

	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け、介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 （みられる症状や行動の例） ※個人差がある	・昔から知っている物の名前が出てきにくい ・積極性が低下する ・金銭管理や買物などの日常生活は自立している	・新しい事がなかなか覚えられない ・些細なことで怒りっぽくなる ・作り話等で取り繕うようになる ・料理の手順など、状況判断が必要な行為が難しくなる ・買物や金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ自立している	・服薬管理ができない ・電話の応対や訪問者の対応などが1人では難しい ・慣れた道を迷ってしまう ・買い物など今までできたことにミスが目立つ	・着替えや食事、トイレ等がうまくできない ・財布などを盗られたと言い出す（物盗られ妄想） ・自宅が分からなくなる ・日時、季節が分からなくなる	・ほぼ寝たきりで意思の疎通が難しい ・言葉によるコミュニケーションが難しくなる ・声かけや介護を拒む ・飲み込みが悪くなり食事に介助が必要
家族の心構え （やっておきたいこと・決めておきたいこと） （家族へのお願い）	・認知症を予防するため規則正しい生活を心掛ける。 ・認知症に関する正しい知識や理解を深める。 （関わる人がうまく対応することで穏やかな経過をたどる事も可能。間違った対応は本人の症状を悪化させる原因にもなる。） ・親戚や家族、友人など周囲の人に病気のことを伝えておく。		・介護保険サービスを利用したり、家族の集いの場に参加する。 →戸惑うような出来事が増え、介護が難しくなる。家族が休息する時間を取ったり、いざという時のために家族以外の人の介護に慣れておくと、スムーズな対応ができる。 ・今後の生活設計（介護・金銭管理・財産）の備え。		・認知症が進行した後の生活について施設や在宅サービスについて相談しておく。 →本人の視点に立って、家族間で相談しておく。

認知症の人を支援する体制等

介護予防・悪化予防・他者とのつながり	特定・長寿健診　健康づくり推進員　元気度アップ・ポイント活動 元気はつらつ教室　ころばん体操　ふれあいサロン活動 一般介護予防事業　老人クラブ活動　地域活動 【通所介護・通所リハビリ】通所系サービス 悪化させないための、リハビリや入浴・食事のサービスが利用できる 【訪問介護・訪問リハビリ】訪問系サービス 自宅に来て食事などの生活支援や入浴介助などの身体介護をしてもらうことができる
仕事・役割支援	シルバー人材センター　地域サロン支援　生涯学習講座 元気度アップ・ポイント活動　老人クラブ活動　地域活動
安否確認・見守り	近隣　自治会　民生委員　コミュニティ協議会　見守り協力員　認知症サポーター 民間事業者（郵便局・金融機関・新聞配達・ガス会社・電力会社）　警察　消防　緊急通報システム
生活支援	生活支援コーディネーター　福祉サービスの利用手続き・金銭管理等の支援　成年後見人制度　消費者トラブル相談窓口 配食支援　移動支援　家事支援（社協 おやっとサービス・コープたすけあいの会・シルバーサービスなど）
医療	「認知症かな」と思ったら、気軽に相談・受診をする （かかりつけ医・認知症サポート医・もの忘れ外来） 【訪問診療・訪問看護】 受診が難しいときは、自宅まで医師や看護師が来てくれる
介護	【訪問介護・通所介護・通所リハビリ・訪問リハビリ・ショートステイ】悪化させないためのリハビリや身体介護、生活支援を利用できる
家族支援	地域包括支援センター　認知症サポーター　認知症地域支援推進員　ケアマネジャー　もの忘れ予防相談会　認知症講演会 認知症についての勉強や、家族同士の情報交換・交流をしたいとき（認知症家族会）　オレンジほっとカフェ（認知症カフェ）
緊急時支援	地域包括支援センター　ケアマネジャー　医療機関　警察　消防団

認知症の予防・生きがいづくり



● オレンジほっとカフェ（認知症カフェ）

お茶やコーヒーを飲みながら、楽しみ・交流の場となり、認知症の方を支える居場所として設置しています。
認知症について悩み・関心のある方、認知症のご本人やご家族はもちろん、どなたでも参加できます。

名前	会場	開催日	問合せ先
わんど	有明町野井倉1609番地 カフェnoikuraわんど	第2・4水曜日 10:00～14:00	代表　山元 474-0173
和（なごみ）	松山町新橋1655番地	第2・4水曜日 9:30～13:00	代表　上村 487-9724
コープよつば会	志布志町志布志2250-1 （志ふれあい交流館）	第2・4水曜日 13:00～16:00	代表　吉満 090-9797-9114
あや子さんの家	志布志町安楽907番地1	第2・4水曜日 9:00～12:00	代表　松崎 090-1875-8981
たまり場	松山町泰野870番地3 （三文字茶屋）	毎週月曜日 10:00～15:00	代表　中原 090-1979-6445
コミュニティSalon　花カフェ	松山町新橋265番地7	第2・4土曜日 9:00～12:00	代表　野村 080-6054-3611
地域・子育て支援サロン　MOMOカフェ	志布志町志布志256番地3	第2・4木曜日 13:00～16:00	代表　川崎 070-9167-7177

※参加日時は、変更になる場合があります。
※参加費は原則無料ですが、別途、飲食費や材料費が必要な場合があります。詳しくは各カフェへお問い合わ

（事業実施に関する問合せ先）　志布志市役所　健康長寿課　長寿支援グループ	電話472-1111

● 生涯学習講座

「豊かな生活の一助として」、それぞれの目的に向かって、年齢・性別を問わずに学ぼうとしている方々が集う空間として、公民館や文化会館等で約140の生涯学習講座を開催しています。

● 志布志市まちづくり出前講座

出前講座メニューの中から、市民の皆様のリクエストに応じて、市役所や官公署等の担当職員が皆様の所へお伺いして、出前講座を実施しています。

（問合せ先）　志布志市教育委員会　生涯学習課　社会教育グループ	電話472-1111

● ころばん体操教室

集落や地区の仲間と、公民館等において、週1回、健康づくり・仲間づくりの場を作り、住民主体の介護予防を普及し、健康維持・増進を目的としています。

（問合せ先）　志布志市役所　健康長寿課　　電話472-1111



● いきいきふれあいサロン活動

定期的に集まり、サロンの中で趣味活動や運動を行い、介護予防の普及啓発を促進し、地域住民との交流及び社会参加を目的としています。

（問合せ先）　志布志市社会福祉協議会　　電話472-1800

● 志布志市シルバー人材センター

おおむね60歳以上の健康で働く意欲がある方、センターの趣旨に賛同される方は、豊かな経験と豊富な知識を生かすことができます。

（問合せ先）　志布志市シルバー人材センター　　電話474-2500

● 高齢者元気度アップ・ポイント事業

65歳以上の方の健康づくりや社会参加を通して、介護予防を推進することを目的としています。サロンなどの活動を通して、ポイントを加点します。ポイントを貯めるとそのポイントに応じて、地域商品券や温泉券と交換できます。

● 高齢者地域支え合いグループポイント事業

65歳以上の方を含むグループを対象に、互助活動を推進することを目的としています。高齢者の生活支援の充実のための活動を通して、ポイントを加点します。　詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

（問合せ先）　志布志市役所　健康長寿課　長寿支援グループ　　電話472-1111

【資料5】



認知症に関する相談

高齢者の窓口となるのが、「**地域包括支援センター**」です。高齢者が住み慣れた自宅や地域で生活できるよう、様々な相談をお受けしています。認知症が心配になったら、「地域包括支援センター」にご相談ください。市には「認知症地域支援推進員」がおり、認知症の方やその家族のために相談を受けアドバイスします。

また、下記の電話相談窓口では、認知症の悩みに対し、相談員が対応します。お気軽にご相談ください。

★志布志市地域包括支援センター（志布志市役所2階）　電話　099-472-1111

※「認知症地域支援推進員」とは

医療・介護・地域のサポートなど、関係機関と連携し、認知症の方の状態に応じた支援を行う相談員です。

☆県認知症コールセンター（認知症の人と家族の会　鹿児島県支部）

電話・FAX　099-257-3887

介護体験者や専門職の相談員が、心ゆくまでお聞きします。同じ経験を持つ者同士の安心感で、介護家族の心が分かり合えて、気持ちが安らぎます。

利用時間　月曜日　～　金曜日　　午前10時　～　午後4時

運営主体　公共社団法人　認知症の人と家族の会　鹿児島県支部

☆若年性認知症の電話無料相談　　電話　0800-100-2707

認知症は、高齢者だけの病気ではなく、年齢が若くても発症します。65歳未満で認知症が発症した場合を「若年性認知症」といいます。コールセンターでは、若年性認知症の様々な悩みに対して、専門教育を受けた相談員が対応します。

利用時間　月曜日　～　土曜日　　午前10時　～　午後3時　ただし、水曜日　午前10時　～　午後7時

運営主体　社会福祉法人　仁至会認知症介護研究　研修大府センター

☆家族の会　　認知症の電話相談　　電話　0120-294-456

研修を受けた介護経験者が電話相談を受けます。少しでも心が軽くなり、元気を出してもらえるよう、経験者が丁寧にお聞きします。

利用時間　月曜日　～　土曜日　　午前10時　～　午後3時

運営主体　公共社団法人　認知症の人と家族の会　鹿児島県支部



介護保険に関する問合せ

高齢者自身が、心身機能の低下により生活の支援・介護が必要になった場合、下記窓口へご相談ください。

※認定結果が要支援の方は地域包括支援センターへ、要介護の方は居宅介護支援事業所へ

（問合せ先）	志布志庁舎	健康長寿課　長寿支援グループ	電話　472-1111
	有明庁舎	福祉保健課　福祉保健グループ	電話　474-1111
	松山庁舎	総務市民課　市民グループ	電話　487-2111



介護保険サービスの種類

★　居宅介護　・　介護予防支援	★　訪問介護	★　訪問入浴介護
★　通所介護（デイサービス）	★　訪問リハビリ	★　訪問看護
★　通所リハビリ（デイケア）	★　短期入所生活介護（ショートステイ）	
★　小規模多機能型居宅介護	★　認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	
★　介護老人福祉施設	★　介護老人保健施設	
★　福祉用具貸与・購入	★　住宅改修	
★　特定施設入所者生活介護	★　介護療養型医療施設	
★　定期巡回・随時対応サービス		

居宅介護支援事業所

利用者が、必要に応じて介護保険サービスを利用できるように、ケアマネジャーが支援します。
要介護認定された場合は、居宅介護支援事業所へ相談し、ケアプランを作成します。

	名称	電話番号	所在地
有明町	小松の里居宅介護支援事業所	474-2511	有明町野井倉2006-1
	曽於医師会立居宅介護支援事業所	477-2334	有明町野井倉8288-1
	びろうの樹	474-1001	有明町野井倉5777-7
志布志町	介護相談センターみんなの樹	479-3232	志布志町安楽2323
	左右会介護支援センター	472-5250	志布志町志布志1-13-1
	志布志在宅介護総合センター賀寿園	472-6600	志布志町安楽2903-1
	志布志市社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所	472-0568	志布志町志布志3222-1
	志布志中央クリニック居宅介護支援事業所	473-8103	志布志町志布志1290-1
松山町	在宅介護センターやっちく居宅介護支援事業所	487-8215	松山町泰野1111

医　療　機　関

認知症は、早期発見、早期受診、早期治療が非常に重要です。認知症の初期に鑑別診断を受けることで　治療により症状が改善したり、進行を遅らせることができます。
「認知症かな？」と思ったら、まずはかかりつけ医や認知症サポート医、専門医などに相談ください。

「もの忘れ相談ができる医療機関」

	医療機関名	電話番号	所在地
✿1	病院　芳春苑　**（認知症疾患医療センター指定病院）**	472-0035	志布志町安楽3008-5
2	さくらやまクリニック	472-1100	志布志町安楽6179-1
3	藤後クリニック	472-1237	志布志町志布志1-13-1
4	平川やの胃腸内科	472-0145	志布志町志布志2-9-7
5	手塚クリニック	472-5565	志布志町志布志570-2
6	大山病院	472-1400	志布志町夏井1212-1
7	びろうの樹	474-1001	有明町野井倉5777-7
8	松下医院	472-1124	志布志町志布志52-3
9	志布志中央クリニック	472-3100	志布志町志布志1290-1

※鹿児島県「もの忘れの相談できる医師名簿」「認知症サポート医」参照

✿ 認知症疾患医療センターとは、認知症に関する詳しい診断、行動・心理症状や身体の合併症への対応、専門医療相談などを行う医療機関です。
かかりつけ医や介護・福祉施設、地方自治体（志布志市役所）とも連携し、地域の中で認知症の方やその家族に、適切な専門医療を提供する役割を担っています。

